

- ① 配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願いいたします。
希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書を注文扱いにて出荷させていただきます。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2022年2月17日配本 定価9900円(本体9000円+税) A5判上製・896頁 廖欽彬、伊東貴之、河合一樹、山村 奨 編著 東アジアにおける哲学の生成と発展 間文化の視点から ISBN978-4-588-15123-1 C3010 帝国主義・植民地主義期から21世紀の現在まで、異文化たる西洋の学問を翻訳し受容してきた東アジア各国の思索者たちは、政治との対決や伝統思想の批判的継承のなかでいかに格闘し、自らの哲学を作り上げてきたのか。そしていま、先人たちの遺産をもとに、東アジアにはどんな〈世界哲学〉の共有が可能なのか。日中台韓越の研究者が集結し、国際日本文化研究センターで開かれた連続研究会の画期的成果。 【哲学史】 ☆関連書：藤田正勝編『思想問の対話』、加藤泰史・小倉紀蔵・小島毅編『東アジアの尊厳概念』（小局刊）。
-------	----	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2022年2月28日配本 定価7590円(本体6900円+税) A5判上製・424頁 土井智義 著 米国の沖縄統治と「外国人」管理 強制送還の系譜 ISBN978-4-588-32709-4 C3021 1945～72年まで沖縄は米国の統治下にあった。時に武力を伴うその強引な支配は、「銃剣とブルドーザー」という言葉でも有名である。しかし、米国人が人々を戸籍で琉球住民と非琉球人に区分したことは知られていない。非琉球人は現在の外国人と同様に扱われ、入管制度に違反すれば日本本土に強制送還された。非琉球人管理制度がつくられた歴史的背景を考究する。 【沖縄現代史・移民問題】 ☆関連書：森宣雄・富山一郎・戸邊秀明編『あま世へ』、トビー『パスポートの発明』（小局刊）。
-------	----	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2022年3月2日配本 定価4400円(本体4000円+税) A5判並製・オールカラー・254頁 朴賛弼 著 韓屋と伝統集落 韓国の暮らしの原風景 ISBN978-4-588-78614-3 C1052 ★★ 韓国の伝統的家屋建築(韓屋、ハンオク)にはどのような特徴と機能があるのか。古来からのオンドル暖房や板の間の文化、両班・庶民それぞれの暮らしに即した住居空間、風水地理にもとづく集落の形態から見てくる人々の知恵と美意識を、600点超のカラー写真や図版とともに紹介する。30年にわたって各地を訪ね歩き、韓国と日本両国の伝統建築を実際に目にしてきた著者による貴重な成果。 【韓国建築・文化論】 ☆関連書：イン・ピョンソン著、宮崎清監修『韓国の藁と草の文化』（韓国の学術と文化23、小局刊）。
-------	----	---

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2022年3月3日配本 定価4950円(本体4500円+税) A5判上製・264頁 稲益祐太 著 南イタリア都市の空間史 プーリア州のテリトリーオ ISBN978-4-588-78613-6 C3052 イタリア国内でも農業生産地域として知られ、北部との文化的・経済的格差が語られてもきた南部プーリア州。従来、建築論でも顧みられること少なかったこの地域はしかし、歴史的に諸外国の影響を多く受け、諸都市を軸に独特の文化を形成してきた。ガッリーポリやモノーポリなどの街区形成や住居構造、産業形態を古い文献史料や地図とともに分析し、地域に生きた人々の暮らしを描き出す労作。 【都市史・建築史】 ☆関連書：陣内秀信『水都ヴェネツィア——その持続的発展の歴史』（小局刊）、『水都学』シリーズなど。
-------	----	--

ご担当者様 氏名： [] 担当ジャンル： [] TEL： []

* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。
 * 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。